

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もあり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



子どもたちも料理の手伝いをしています(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

まだまだ暑い日が続きますが、私の居住する北海道は、朝夕はだいぶ涼しくなってきました。

昼間はさすがにまだ夏ですが、朝夕はすでに秋の風です。

先月のニュースレターでお伝えしたカンボジア孤児院の前田さんですが、今回あまり滞在日数はありませんでしたが、いくつかの場所で報告会を行い、カンボジアへ戻っていかれました。

私も久しぶりにお会いしましたが、お元気そうで何よりでした。

しかし、子供達は大きくなってきているとはいえ、その業務は増々大変になってきていることを伺い知ることができました。

また、食費を初めとした様々な必要が増大し、いくら節約してもいまのままでは本当に厳しいことも痛感させられました。

カンボジア孤児院に限ったことではありませんが、本当に、毎月の運営費を増やさなければ、と考えさせられます。

しかしながら、事務局もギリギリのところまで運営しており、ただただ頭を下げつつ、皆様にさらなる御支援を、とお願いするばかりであります。

皆様の御支援は子供達のいのちと人生に直結しております。

何卒、これからも御支援、御協力、よろしく願いいたします。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きのため皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。7月の一時帰国では、孤児院報告会で現在の状況や必要など報告させて頂き、また皆様とも直接お会いする事が出来て嬉しいひと時でした。今回は特に車の必要があり皆様をお願いしておりましたが、帰国後そのための支援金を頂いた旨の連絡を受けました。皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。一時帰国の数日前から、スタッフや子ども達数人に風邪症状が出始め、特に孤児院に来てまもないDくんの発熱がなかなか下がらず、受診したところデング熱であったことがわかり即入院となりましたが4日後には無事に退院する事が出来ました。帰国からカンボジアに戻った時にはみんなすっかり回復して、全員で元気に迎えてくれました。現在大学で日本語を学んでいるNが、学校推薦とともに奨学金を検討していただいている団体から合格の通知が届き、9月から日本の大学に1年間留学することが決まりました。このような思ってもみなかった素晴らしい機会を得、心から皆様に感謝しています。



すっかり元気になったD(写真中央、左はスタッフのDEさん、右はN)

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援とご協力を心から感謝致します。2023年～2024年の学校登録が8月7日から始まり、年長の子どもたちの登録は8月22日に行われます。教育省から、新学期は8月29日からスタートとの、正式な発表がありました。来週からブリガダエスクウェラが始まります。ブリガダエスクウェラとは、各教室の掃除、校内各所の修理や補正、また各教室に必要な備品を揃えたり、校庭に花を植える等、新学期スタートに向けて必要な準備をすることです。これは保護者、子どもたちも参加して、学校の先生方がともにチームワークで行います。皆様のご支援により、子どもたちが新学期も学校での勉強を続けられることを、心から感謝致します。皆様のご支援が、経済的のみならず、精神的にも子どもたちの大きな支えとなっています。これからもフィリピンの子どもたちのために、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



皆様のご支援により学用品を購入することが出来ました。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の尊いご支援に心より感謝申し上げます。7月末に、国際協力事業団(JICA)の教師海外研修プログラムで、日本全国の学校の先生達の訪問を受けました。私たちがご用意したプログラムは①伝統ダンスで歓迎、②先生達の自己紹介、③中2年生より「持続可能な開発」の発表会、④歓迎式辞、⑤読み聞かせコンテスト、⑥運動会、⑦手作りメダル授与、⑧先生からのお言葉、と盛りだくさんでした。さすが先生達は、一生懸命に子供たちを励ましたり盛り上げたりして下さい、素晴らしい時間を共に作って下さいました。子供たちにとって忘れ難い思い出になったはずです。さて、しばらく中断していた中高等学校建設ですが、近々再開できる目処がようやく立ってきました。この校舎は全体の中の一部だけなのですが、これをもって1月の開校を目指します。そして今後とも残りの建物の完成に必要な5千～6千万円(工事費用が相当高騰しています)の費用をアピールさせて頂きたく思います。どうぞ皆様、これからも引き続きご支援の程を宜しくお願い致します。



先生達と全員集合!

松本弘子さんのイラスト



ブーゲンビリアの花を髪に飾るカンボジアの女の子